

チャペル週報

No.2

2022.4.18～4.22

この朽ちるべきものが朽ちないものを着、この死ぬべきものが死なないものを着るとき、次のように書かれている言葉が実現するのです。

「死は勝利にのみ込まれた。」

(コリントの信徒への手紙一 15章 54節)



時計台 (西宮上ヶ原キャンパス)

関西学院宗教センター

生ける者の神ということ

土井 健司

イースターはイエス・キリストの復活の祝祭であり、教会のはじまりとともに祝われてきました。

復活というと、墓から起き上がるイメージは古典的ですが、現代ではゾンビと同じになりかねません。あるいは今の時代、重病を患う富裕者が大金をだして冷凍してもらい、治療法が確立している未来に目を覚ましてもらうというビジネスがあるそうですが、それは復活とは呼べません。理論物理学者三田一郎氏の『科学者はなぜ神を信じるのか』のなかに、私たちがこの宇宙のなかに存在することの偶然性について面白いことが記されていました。腕時計をバラバラに分解し部品に分け、それらを宙に放り投げて落ちてきたときにもとの腕時計に組み上がる、そのありえない可能性と同じくらい私たちの存在は偶然だと言います (258 頁)。であれば私たちが存在するのと同様に、その身体の復活の可能性もゼロとは言えないでしょう。ただしこのように客観的に理解しても、復活は未来を拓く信仰にはならないでしょう。

復活を考えると、私たちはまず物理的にあり得ないと疑いますが、福音書に記してあるのは、レビレート婚をもとにしたサドカイ派の疑問です (マタイ 22 章 23 節以下)。すなわち復活が起こるのなら複数の兄弟と再婚した妻はだれの妻となるのかと問います。ここでは物理的にはありそうだという感覚が前提になっている点が興味深いところです。ありそうだけど、もし本当にあるのなら、誰の妻になるのかと問うからです。私たちの時代は宗教事象について「ありそうだ」という感覚を失っています。反対に、科学的なものについては無条件に「ありそうだ」という感覚をもちます。この感覚の変化、違いは注意すべき点だと思います。

そして「復活」について考える際に、上記でイエスがおっしゃっていたことは本質的です (32 節)。つまり「アブラハム、イサク、ヤコブの神」とはすでに亡くなった先祖たちの神という過去でなく、いま生きている者たちの神であるはずだ、だからアブラハムも皆いま生きているのだとおっしゃいます。「生ける神」、「生ける者の神」という聖書における神の「いのち」の思想とともに「復活」を考える必要があります。身体の復活も、創造主である神のいのちのかかわりのなかで捉えてはじめて未来を拓く信仰になると考えています。

(神学部長)

チャペルアワー スケジュール

西宮上ヶ原キャンパス、西宮聖和キャンパス・・・10:30-11:00

神戸三田キャンパス・・・10:40-11:10

4/18 月

神 イースター礼拝 中道 基夫 (院長)
経 イースターを迎えて① 李 相勲 (宣教師)
人 ゴスペルをアカペラで① New Directions、広瀬 康夫 (グリークラブ技術顧問)
建 村瀬 義史 (宗教主事)

19 火

神 神学部で学ぶ
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 オリエンテーション 打樋 啓史 (宗教主事) 今井 信雄 (副学部長)
法 前田 雅子教授 (法学部長)
経 イースターを迎えて② 舟木 讓 (宗教主事)
商 木原 桂二 (宗教主事)
国 動画配信 URL : <https://www.kgsisxp.com/> [KG SIS キリスト教サイト]
理・工・生環 前川 裕 (宗教主事)
総 学部創立記念チャペル
教 山本 健治 (教育学部長)

20 水

神 成績優秀者の顕彰礼拝
社 オリエンテーション 打樋 啓史 (宗教主事) 森 康俊 (学部長)
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
商 木原 桂二 (宗教主事)
人 李 善恵 (宣教師)
国 動画配信 URL : <https://www.kgsisxp.com/> [KG SIS キリスト教サイト]
理・工・生環 前川 裕 (宗教主事)
教 山本 健治 (教育学部長)

21 木

神 宗教総部による礼拝
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 オリエンテーション 打樋 啓史 (宗教主事) 森 康俊 (学部長)
法 音楽チャペル ウィメンズ・グリークラブ
経 イースターを迎えて③ 舟木 讓 (宗教主事)
商 広瀬 憲三 (商学部長)
人 ゴスペルをアカペラで② New Directions、広瀬 康夫 (グリークラブ技術顧問)
総 Christian Triebel (KSC 宣教師)
聖和 オルガンオリエンテーション 高田 正久 (非常勤講師)

22 金

神 私の出会い① 岩野 祐介 (神学部教授)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 李 相勲 (宣教師)
院 イースターを迎える 井上 智 (宗教センター宗教主事)
理・工・生環 Christian Triebel (KSC 宣教師)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10～8:30 ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原）
4月22日（金） 神学部のために 土井 健司（神学部長）
毎週金曜日、各テーマに沿ったお話を聞き、参加者で祈りを捧げています。学生・教職員の方々に開かれた祈祷会です。ランバス礼拝堂とZoom併用で実施しておりますので、ぜひご参加ください。
Zoomでご参加希望の教職員・学生の方は、宗教センター（shukyocenter@kwansei.ac.jp）へ
①メールアドレス②お名前③所属④関学との関係（学生等）をメールでお知らせください。

●チャペルオルガニスト募集

関西学院では毎年チャペルオルガニストを募集しており、本年は4月30日（土）にオーディションを行います。採用されますと個人レッスン（有料）を受けることができ、チャペルの奏樂をはじめ、発表会、研修会、コンサートなどを通して、教会音楽を中心とした幅広い知識、技能を身につけることができます。

募集要項・応募用紙の入手方法

関西学院のポータルサイト kwic のお知らせ（右記 QR コード参照）から
提出書類をダウンロードしてご応募ください。

応募用紙提出先 organist@kwansei.ac.jp

名前、学部、キャンパス名を明記の上、添付ファイルが受信可能なメールアドレス
から送信してください。

応募期間：4月1日（金）～4月22日（金）16:50

問い合わせ・資料請求：宗教センター オルガニスト募集担当

電話：0798-54-6018

E-mail：organist@kwansei.ac.jp



●関西学院チャペルオルガニスト スプリング・コンサート～パイプオルガン演奏会へのお誘い～

と き：4月19日（火）、21日（木）12:50～13:10

ところ：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

各学部のチャペルでオルガン奏樂を担当している学生オルガニストたちが得意曲を披露します。

また、上ヶ原キャンパスでは4月20日（水）、22日（金）12:50～13:10 ランバス記念礼拝堂で学生によるオルガニスト募集の説明会をします。興味のある方はぜひお越し下さい。

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。

【どなたでもご自由にご参加ください。】（17:50～18:20 1405教室）

4月主題：関西学院の Spirit

4月21日（木） 井上 智（宗教センター宗教主事）

28日（木） 打樋啓史（宗教総主事）

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日（原則）の10:00～11:00に関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っております。

どなたでも（クリスチャンでなくとも）ご参加できますのでどうぞお越しください。

4月24日（日）10:00～11:00

●第222回ランバス演奏会「English Hymnal イギリスの賛美歌集」

「ランバス演奏会」は1961年から関西学院の学生、生徒、教職員はじめ、地域住民の方々に親しまれて参りました。ランバス記念礼拝堂に響く音色をたっぷりお楽しみください。（入場無料／予約不要）

出演者：平井満美子（ソプラノ） 佐野健二（リュート）

と き：4月19日（火）17:00～18:00

ところ：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

主 催：関西学院宗教センター 0798-54-6018

平井満美子と佐野健二のデュオは世界でも数少ないルネサンス、バロックリュート歌曲のスペシャリストです。ランバス演奏会には1998年から毎年イースターとクリスマスシーズンに出演しており今年で25年目を迎えます。

●オリエンテーションプログラム 2022 参加者募集のご案内

新入生（大学）を対象に、関西学院大学を知り、感じていただくためのプログラムを実施いたします。どうぞ奮ってお申込みください。ご参加をお待ちしています！

日 時：2022年4月23日（土）13：30～16：30

会 場：ランバス記念礼拝堂はじめ、西宮上ヶ原キャンパスの様々な校舎・施設を巡ります

対 象：関西学院大学に在学する1年生（希望者は2年生も可）

定 員：60名（応募が越える場合は抽選）

内 容：上ヶ原キャンパスを用いた学生リーダーによる企画、交流など
※参加希望の方はURLからお申込みをお願いします。

申込先：<https://forms.gle/dvHDE4et12Bv48RW7>

オリエンテーションプログラム 2022 申し込み用フォーム

※集合場所など詳細は申込者宛に個別にご連絡いたします。

主 催：関西学院宗教センター

協 力：宗教総部（千刈リーダーズクラブ、献血実行委員会）、ボランティア活動支援センター
学生CO、聖歌隊、ハンドベルクワイア、バロックアンサンブル、ゴスペルクワイア、オルガニスト



●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門に入って右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。4月末から関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

4月28日（木）関西学院グリークラブ

5月26日（木）関西学院大学混声合唱団エゴラド

5月27日（金）関西学院大学応援団総部吹奏楽部

6月23日（木）関西学院ハンドベルクワイア

6月30日（木）関西学院ウィメンズ・グリークラブ

7月 7日（木）関西学院交響楽団（管楽アンサンブル）

7月 8日（金）関西学院交響楽団（弦楽アンサンブル）

7月15日（金）関西学院聖歌隊

いずれも12時45分～13時15分

ところ：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

主 催：宗教センター・宗教音楽委員会

●関西学院大学文化総部書道部「聖句展」

と き：5月16日（月）～20日（金）

9：00（初日は10：30から）～17：00（最終日は15：00まで）

ところ：吉岡記念館1階ラウンジ

主 催：宗教センター

●ボランティアに関心がある皆さんへ（ヒューマン・サービス支援室からお知らせ）

単発のボランティアや継続して関わるボランティア団体・サークルの紹介をしています。

[相談予約・お問い合わせフォーム]

個別にボランティアの紹介や相談対応をしています。

<https://onl.tw/UBvnyqX>

[春のボランティア情報誌『春ボラ』]

https://www2.kwansei.ac.jp/kwansei_c_volunteer/2022/

[ボランティア団体の合同説明会『ボランティア EXPO』]

神戸三田 : 4月20日(水)～21日(木) @第二厚生棟2階学生ラウンジ

西宮聖和 : 4月27日(水)～28日(木) @ラーニングcommonsリプラ2階

https://kwanseiac.jp.ecbeing.biz/c_volunteer/news/detail/156

●CD・DVDライブラリー利用について

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

●「チャペル週報」のバックナンバー(2005年以降)は下記で閲覧できます。

URL : <https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/weekly/>

関西学院宗教センター

<https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/>

